

## DDSにおける薬物担体：水溶性多糖類高分子の 体内動態特性

金尾義治, 田中哲郎, 上村智哉, 加納聰

Drug Delivery System, 10(4), 270 (1995)

Drug Carriers in DDS: Pharmacokinetics of  
Water Soluble Polysaccharide

Yoshiharu KANEO, Tetsuro TANAKA,  
Tomochika Uemura, and Satoshi Kanoh

デキストランを始め、プルラン、グリコーゲン、アラビノガラクトンの水溶性中性多糖類高分子をFITC標識化し、高速排除クロマトグラフィによる測定法を確立した。マウスにおいて静注後の体内動態を検討した。デキストランやプルランはそのほとんどが肝に蓄積し、低分子化を受けながら緩やかに消失した。アラビノガラクトンはアシアロ糖蛋白質レセプターを介して、投与後速やかに肝へ取り込まれた。グリコーゲンは血液や肝組織中で速やかに分解したが、デキストランやプルランは大腸組織や糞中で著しい分解性を示した。以上、担体高分子の持つ体内動態特性がDDS設計の重要な因子であることが示された。